作成月日 25/04/01 専門課程 小教科 学科 大教科目 二輪車整備 対象級 自動車整備留学生科 自動車整備 目 開講期 後期 教科担当 別紙参照 実務経験教員授業 非該当 総時限 20時限 授業方法 講 義 評価方法学科試験 期末試験

〔授業概要・目的〕

二輪車の構造・機能に関する基礎知識を習得する。

[授業の到達目標]

- 二輪車の概要と基礎知識を身に付ける
- 二輪車サービス業務に関する周辺知識を身に付ける

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

[使用教科書・教材等]

三級自動車整備士(二輪)、計算問題を解くノウハウ

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
	1	第1章 二輪車の概要	
	1	第3章 基本的な原理・原則	
	1	第1章 総論 Ⅱ 内燃機関	
	1	第4章 エンジン Ι エンジン本体	
	1	第6章 シャシ I動力伝達装置・ドライブチェーン	
	1	第4章 エンジン IV 燃料装置	
	1	第4章 エンジン V 吸排気装置	
	1	第3章 シャシ V ホイール・アライメント VII フレーム	
	1	第3章 シャシ V 動力伝達装置・クラッチ	
	1	動力伝達装置 自動遠心クラッチ C50	
	1	第4章エンジン Ⅱ 潤滑装置 / 第8章 燃料及び潤滑剤	
	1	第7章シャシ電気装置 Ⅰ 灯火装置 ~ Ⅲ ホーン	
	1	定期点検	
	2	計算Ⅰ·Ⅱ	
	1	第4章エンジン VI 電子制御装置	
	1	第6章動力伝達装置 ベルト式自動無段変速機 / ホンダ Vマチック	
	1	ホンダの保証制度、リコール、改善対策、サービス、キャンペーン	
	2	総合復習 I・Ⅱ	

専門課程 作成月日 25/04/01 小教科 学科 大教科目 エンジン系構造 対象級 自動車整備留学生科 自動車工学 目 開講期 前期 教科担当 別紙参照 実務経験教員授業 非該当 総時限 33時限 授業方法 講 義 評価方法学科試験 単元·期末試験 取組加減

〔授業概要・目的〕

ガソリン・ジーゼル・エンジンの構造、機能、基礎整備について学習することで、三級ガソリン・ジーゼル自動車整備 国家試験(登録試験)のエンジン部門において合格できるレベルの知識習得を目的とする。

[授業の到達目標]

STEP1:エンジン構造、機能、整備の知識を習得及び、3級実力判定問題より、計算を習得する

STEP2:登録試験過去問題を活用し各章の理解度向上を図る

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~ 89点 3:60~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

[使用教科書・教材等]

三級自動車整備士(総合、二輪)、計算問題を解くノウハウ、電装品構造

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	1	導入	
	8	第4章 エンジン I エンジン本体	
	1	第4章 エンジン IX排出ガス浄化装置	
	1	第4章 エンジン V燃料装置「ガソリン・エンジン」	
	1	行程関連 I	
	1	計算問題 I	
	1	総合復習(エンジン関連)	
	1	磁気	
	1	バッテリ・充電装置	
	1	始動•点火装置	
	1	ED実力判定問題集	
2	1	第4章 エンジン Ⅱ潤滑装置	
	1	第4章 エンジン Ⅲ冷却装置	
	2	第4章 エンジン Ⅵ電子制御装置「ガソリン・エンジン」	
	1	第8章 燃料及び潤滑剤	

		T
	2	第6章 シャシ Ⅱ動力伝達装置
	1	第4章 エンジン IV吸排気装置
	1	総合復習
	1	診断機とバッテリ
2	1	始動・点火装置の回路
	1	充電装置の回路
	1	ED実力判定問題集
	1	行程関連Ⅱ
	1	計算問題Ⅱ

作成月日 25/04/01 専門課程 小教科 学科 大教科目 シャシ系構造 対象級 自動車整備留学生科 自動車工学 目 開講期 前期

教科担当 別紙参照

実務経験教員授業 非該当 総時限 33時限 授業方法 講 義 評価方法学科試験 単元・期末試験

〔授業概要・目的〕

シャシの構造、機能について学習することで、三級自動車整備士国家試験を合格できる

レベルの知識習得を目的とする

〔授業の到達目標〕

三級自動車整備士(総合)の教科書を中心に、各章の車体の構造、機能の知識を習得する

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

[使用教科書·教材等]

1 サーキットテスタ

三級自動車整備士(二輪)、計算問題を解くノウハウ

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
	1	導入	
	1	基礎自動車	
	1	動力伝達装置	
	1	ショックアブソーバ	
	1	ステアリング装置	
	1	ドラムブレーキ	
	1	ギヤ	
	1	スプリング・ベアリング	
	1	自動車の材料	
	1	サスペンション	
	1	自動車総論	
	1	マスターシリンダ・ブレーキ液	
	1	ディスクブレーキ	
	1	実力問題集1・2	
	1	シャシ総合復習	
	1	電圧降下と半導体	
	1	灯火装置	

1	実力判定問題集
1	制動倍力装置
1	ディファレンシャル
1	ホイールアライメント(四輪)
1	アンチロック装置・Pバルブ
1	ホイール (四輪)
1	タイヤ (四輪)
1	自動遠心クラッチ(二輪)
1	法令 (二輪、四輪)
1	実力問題(1&2)
1	シャシ総合復習
1	計器
1	冷暖房装置
1	ホーン・ワイパ・ウォッシャ
1	CD実力判定問題集

大教科目		学科	小教科	白番	力車総論(後	公甘3)		対象級	専門課程 自動車整備留学生科	作成月日	25/04/01
八秋竹口	自動	車工学	目	口到		Z 79 1/			2年	開講期	後期
教科担当	別紙	参照									
実務経験教員	員授業	非該当	総時限	10時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験 期末試験		取組加減
〔授業概要	•目的	j)									
自動車整個	備士 資	を 格取得の かっぱん かいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅ はら かいしゅう かいしゅ はら かいしゅう いき はら しゅう いき いき はら しゅう いき はら しゅう いき はら しゅ いき はら しゅう いき はら しゅ いき はら しゅ いまり いき いき はら しゅ いき いき はら しゅ いき)ための、2	基礎的な原	原理・法則	を理角	解する	3			
〔授業の到	達目	票〕									
基礎的な原	亰理・沿	去則を理角	解する(てご	の原理、	パスカルの)原理	!、速	(度)			
基礎計算り	こつい	て理解す	る(排気量	世、速度、	ギヤ比、圧	力)					
〔学習評価	の基準	準〕									
各試験点	数の基	準、授業の	の取り組みを	総合して、	5.4.3.2	·1」の	5段[皆で表わす	0		
5:特に成	績優秀	まなもの 4	:成績良の	5の 3:成	績普通のも	O 2	2:成	績やや劣る	もの 1:成績特に劣り	、不合格の	もの
各試験点	数の評	価は 5:9	0~100点	4:75 ~	89点 3:60	~ 74	点				
60点未満	の場合	おは再試験	を行う。尚、	再試験後	の評価は試	験規種	星に。	はる。			
〔使用教科	·書·教	材等〕									
練習問題	プリント	、総合練	習問題プ	リント、計算	算問題を解	なく ノウ	ハウ	7			
				授	業計	画表	<u> </u>				No. 1
STEP 標準時限					ž	受業内	容(項目)			
1	速さの)計算問題	<u>頁</u>								
1	排気	量の計算	問題								
1	トルク	コンバーク	夕性能曲線	製図の計算	即題						
1	ギヤト	化の計算問	問題								
2	復習	問題									
1	荷重の	の問題(1))								
1	荷重の	の問題(2))								
1	パスオ	カルの原理	<u>E</u>								
1	遊星	ギヤ									

大教科目		学科]車工学	小教科		自動車総詣	À H	対象級	専門課程 自動車整備留学生科		25/04/01
			目					2年	開講期	前期
教科担当	別紙参	多 照								
実務経験教	員授業	非該当	総時限	5時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 期末試験		取組加減
〔授業概要	更•目的]]								
自動車整	備士資	格取得の)ための、	基礎的な原	原理•法則	を理解する	3			
〔授業の至	達目	票〕								
基礎的な	原理・沿	去則を理角	解する(てご	この原理、	パスカルの	D原理、速	(度)			
基礎計算	につい	て理解す	る(排気量	量、速度、	ギヤ比、圧	力)				
〔学習評句	5の基準	隼〕								
前期は学習	習評価な	ìl.								
〔使用教科	斗書•教	(材等]								
計算問題	を解く	ノウハウ、	練習問題	プリント、糸	総合練習問	題プリント	`			
				授	業計	画 表				No. 1
STEP 標準時限	L				扫	受業内容(項目)			
1	オーク	ムの法則								
1	速さの)計算問題	夏							
1	排気』	量の計算								
1	力(荷	重)の計算	Ę.							
1	ギヤレ	上の計算								

大教科目	学科	小教科		図面·材料			対象級	専門課程 自動車整備留学生科	作成月日	25/04/01
	自動車工学	目						2年	開講期	後期
教科担当	旦当 別紙参照									
実務経験教員授業 非該当 総時限 9時限 授業方法 講 義 評価方法 学科試験 期末試験										
〔授業概要	[•目的]									
整備士とし	て自動車に使	われる部品	は材料の知	口識を深め	る					
[授業の到	達目標〕									
自動車整備	備士資格を取得	計するための	の自動車	材料の知識	能を習	得す	る			
〔学習評価	iの基準]									
各試験点	数の基準、授業の	り取り組みを	P総合して、	5•4•3•2	·1」の	5段阝	皆で表わす	o		
5:特に成	績優秀なもの 4	:成績良の	もの 3:成	績普通のも	の 2	2:成清	績やや劣る	もの 1:成績特に劣り	、不合格の	つもの
各試験点	数の評価は 5:9	00~100点	4:75 ~ 8	89点 3:60	~ 74	点				
60点未満	の場合は再試験	を行う。尚、	再試験後	の評価は試	、験規程	星によ	に る。			
[使用教科	·書·教材等〕									
自動車材料	4、プリント									
			授	業計	画表					No. 1
STEP 標準時限				拉	受業内	容(項目)			
1	第1章 総論									
1	第2章 金属材料	斗の性質								
1	第3章 鉄鋼材料	斗:概要								
1	第3章 鉄鋼材料	斗:鋳鉄								
1	第4章 非鉄金属	属材料								
1	第5章 焼結合金	金								
1	第6章 非金属村	才料								
1	第7章 複合材料	————								
1	総合復習(材料	¥)								

大教	科目		学科	小教科		図面·材料			対象級	専門課程 自動車整備留学生科	作成月日	25/04/01
		日期	声工学	目					7.3.3.4.12.4	2年	開講期	前期
教科	担当	別紙	参照						=			
実務紹	E 験教	員授業	非該当	総時限	2時限	授業方法	講	義	評価方法			取組加減
〔授業	美概要	· 目的	J)									
一般	的な知	和識と	して、図面	可の取扱や	・重要性を	知る						
〔授業	きの到	達目	票〕									
図面	を見て	て大ま	かな形状	や、その情	青報が読 取	文れるように	なる					
〔学習	習評価	jの基準	準〕									
前期	は学習	評価な	2L									
〔使用]教科	·書·耈	材等〕									
製図	、自重	加車材	料									
					授	業 計	画表	Ê				No. 1
STEP	標準時限					拉	受業内	容(項目)			
	1	第1章	『 概要、第	第2章 図面	の大きさん	及び様式、	第3章	線、	、文字、尺	度		
	1	第4章	図形の記	表し方								

 大教科目
 学科自動車整備目
 小教科目
 エンジン系整備
 対象級 自動車整備留学生科自動車整備留学生科2年
 作成月日
 25/04/01 開講期
 後期

 教科担当 別紙参照

義 評価方法学科試験 単元・期末試験

取組加減

〔授業概要・目的〕

実務経験教員授業 非該当

ガソリン・ジーゼル・エンジンの構造、機能、基礎整備について学習することで、三級自動車整備士(総合)

国家試験(登録試験)のエンジン部門において合格できるレベルの知識習得を目的とする。

20時限 授業方法 講

[授業の到達目標]

STEP1:エンジン構造、機能、整備の知識を習得及び、3級実力判定問題より、計算を習得する

STEP2:登録試験過去問題を活用し各章の理解度向上を図る

総時限

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

[使用教科書・教材等]

三級自動車整備士(総合、二輪)、計算問題を解くノウハウ

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	1	導入・ディーゼル総論	
	2	第4章 エンジン I エンジン本体 3整備	
	2	第4章 エンジン ₩Iディーゼル燃料装置	
	1	第4章 エンジン 潤滑装置・冷却装置整備	
	1	第8章 燃料及び潤滑剤 燃料・潤滑復習	
	1	第4章 エンジン 燃料装置・潤滑装置整備	
	1	行程関連3	
	1	総合復習	
2	1	E総論問題	
	2	E本体問題	
	1	潤滑、冷却装置問題	
	1	電子制御装置問題	
	1	燃料装置問題	
	2	基礎自動車工学問題	
	1	模擬問題	
	1	総合復習	

作成月日 25/04/01 専門課程 小教科 学科 大教科目 シャシ系整備 対象級 自動車整備留学生科 自動車整備 目 開講期 後期 教科担当 別紙参照

実務経験教員授業 非該当 総時限 20時限 授業方法 講 義 評価方法学科試験 単元·期末試験

〔授業概要・目的〕

前期で学んだシャシ構造・作動の知識を基に、点検方法・調整方法等の整備法を理解する

[授業の到達目標]

- 三級自動車整備士(総合)の教科書を中心に、各章の機能、整備の知識を習得する
- 三級自動車整備士(総合)の教科書及び、登録試験の過去問題を活用し各章の理解度向上を図る

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

〔使用教科書・教材等〕

三級自動車整備士(総合)、電装品構造、計算問題を解くノウハウ

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	1	後期 導入	
	1	ステアリング装置 1	
	1	ドラムブレーキ	
	1	潤滑剤	
	1	アライメント調整・整備	
	1	タイヤの不具合症状	
	1	シャシ機器の取り扱い	
	2	実力問題 (I & II)	
	1	総合復習	
2	1	ディファレンシャル復習	
	1	制動倍力装置復習	
	1	ディスクブレーキ	
	1	点検整備	
	1	動力伝達装置 2	
	1	3級実力問題 シャシ(1)	
	1	3級実力問題 シャシ(2)	
	2	シャシ系 計算問題	
	1	総合復習	

作成月日 25/04/01 専門課程 小教科 学科 大教科目 二輪車整備 対象級 自動車整備留学生科 自動車整備 目 開講期 後期 教科担当 別紙参照 実務経験教員授業 非該当 総時限 20時限 授業方法 講 義 評価方法学科試験 期末試験

〔授業概要・目的〕

二輪車の構造・機能に関する基礎知識を習得する。

[授業の到達目標]

- 二輪車の概要と基礎知識を身に付ける
- 二輪車サービス業務に関する周辺知識を身に付ける

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

[使用教科書・教材等]

三級自動車整備士(二輪)、計算問題を解くノウハウ

		授 業 計 画 表	No. 1
TEP	標準時限	授業内容(項目)	·
	1	第1章 二輪車の概要	
	1	第3章 基本的な原理・原則	
	1	第1章 総論 Ⅱ 内燃機関	
	1	第4章 エンジン Ι エンジン本体	
	1	第6章 シャシ I動力伝達装置・ドライブチェーン	
	1	第4章 エンジン IV 燃料装置	
	1	第4章 エンジン V 吸排気装置	
	1	第3章 シャシ V ホイール・アライメント VII フレーム	
	1	第3章 シャシ V 動力伝達装置・クラッチ	
	1	動力伝達装置 自動遠心クラッチ C50	
	1	第4章エンジン Ⅱ 潤滑装置 / 第8章 燃料及び潤滑剤	
	1	第7章シャシ電気装置 Ⅰ 灯火装置 ~ Ⅲ ホーン	
	1	定期点検	
	2	計算Ⅰ・Ⅱ	
	1	第4章エンジン VI 電子制御装置	
	1	第6章動力伝達装置 ベルト式自動無段変速機 / ホンダ Vマチック	
	1	ホンダの保証制度、リコール、改善対策、サービス、キャンペーン	
	2	総合復習 I・Ⅱ	

作成月日 25/04/01 専門課程 小教科 学科 大教科目 電装系整備 対象級 自動車整備留学生科 自動車整備 目 開講期 後期 教科担当 別紙参照 実務経験教員授業 非該当 総時限 20時限 授業方法 講 義 評価方法学科試験 期末試験 取組加減

〔授業概要・目的〕

四輪車の電装系部品の整備法に関する知識を習得する

〔授業の到達目標〕

四輪車の電装系部品の点検方法を知る

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

[使用教科書・教材等]

三級自動車整備士(総合、二輪)、計算問題を解くノウハウ、電装品構造

		授業計画表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	1	バッテリ 整備法	
	1	始動装置 整備法	
	1	充電装置 整備法	
	1	点火装置 整備法	
	1	サービスエンジニア	
	1	エンジン電装実力判定問題集	
	1	オームの法則 I	
	1	灯火装置計器 整備法	
	1	冷暖房装置 整備法	
	1	保安装置 整備法	
	1	低圧の電気	
	1	シャシ電装実力判定問題集	
2	1	論理回路•多重通信	
	1	回路図 I	
	1	回路図Ⅱ	
	1	オームの法則Ⅱ	
	2	電圧(電位)故障探求	
	1	エンジン電装実力判定問題集	
	1	シャシ電装実力判定問題集	

				424 21	·							
大教	彩 . 日	学科 自動車整備に	小教科		法規		対象級	専門課程 自動車整備留学生科	作成月日	25/04/01		
八软	M D	関する法規	目		(石)C		XJ 多 NX	2年	開講期	後期		
教科	担当	別紙参照										
実務経	験教員	員授業 非該当	総時限	4時限	授業方法	講義	評価方法	<u> </u>				
 〔授業	授業概要•目的〕											
整備	士とし	て必要な法的	義務や責任	丘を正しく	把握する。							
自動	車に関	- 関する主要な法	令(道路運	基送車両 活	去、道路交	通法など)	の基本的	な内容を理解する。				
 〔授業	をの到	達目標〕										
法令	違反 /	が安全や社会に	-与える影	響を理解す	し、整備士	や使用者	として法令	合を守る意識を持てる	٥̈°,			
三級	二輪目	自動車整備士国	國家試験(登録試験))に合格で	きる知識を	を身につけ	ける。				
〔学習	評価	の基準〕										
今期	は学習	習評価なし										
〔使用	教科	·書·教材等〕										
三級	自動፤	車整備士(二輪))、計算問	題を解く	ウハウ							
					美業 計 [画 表				No. 1		
STEP	標準時限					受業内容(項目)			-		
	1	法令遵守とコン		/ス								
	1	道路運送車両	法									
	1	保安基準の細	 目									
	1	総合復習(練習	引問題)									

業 卦 両にょう バ コ)

					授業	き 計 運	重(シラ	バス)		
	A) II		実習	小教科	基	磁整備作	業	业长如	専門課程	作成月日	25/04/01
大教	件日		車整備作業	I		(実習)		対象級 	自動車整備留学生科 2年	開講期	前期
教科	担当	別紙	参照								
実務経	E 験教員	員授業	非該当	総時限	13時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 期末試験	レポート評価	取組加減
〔授業	纟概要	•目的	[נ								
自動	車整個	備に必	多とされる	る工具や記	十測器の仮	 走用方法・	取り扱いの	基礎を学	:\$\$°.		
		達目相									
				定値を読							
工具	の名和	かと使	用方法を	理解し、エ	.具を正し	く扱えるよ	うになる				
		jの基									
									・1」の5段階で表わ		
									らるもの 1:成績特に	劣り、不合	格のもの
各試	験点刻	数の評	☑価は 5:	90 ~100	点 4:75	~ 89点:	$3:60 \sim 74$	4点			
				60点未清	歯の場合に	は再試験を	:行う。尚、	再試験後	の評価は試験規程は	こよる。	
レポー	ートの	評価に	よ 5:非常	常に優れて	いる 4:1	憂れている	5 3:普 追	1 2:や	や劣る 1:劣る(再捨	是出の必要	要がある)
			材等〕								
三級	自動	車整備	肯士(総合、	、二輪)、電	装品構造	i					Г
					授	業計	画表				No. 1
STEP	標準時限						受業内容(項目)			
	2		ロメータの	の基礎							
	2		の基礎								
	1	実習」	車の扱い	方							
	1	工具の	の扱い方								
			ージジャッ	キ							
	1	ダイヤ	アの脱着								
	2	ねじ(ボルト&フ	ナット) の櫻	悪と規格						
	2	ボルト	への締め付	けけと修正位	作業						
	1	総合征	復習								

大教科目		実習 車整備作業	小教科目	エンジン系構造					専門課程 自動車整備留学生科 2年		作成月日	25/04/01
八教行口	自動耳		力软件百					開講期			前期	
教科担当	教科担当 別紙参照											
実務経験教	員授業	非該当	総時限	86時限	授業方法	実習•	実技	評価方法	実習試験	単元·期末試験	レポート評価	取組加減
(松光祖)	松类和电 口行											

〔授業概要・目的〕

ガソリン・ジーゼル・エンジンの分解・組立整備を通じて、基本構造・作動の理解と、各部の点検測定や調整ができるようになること、又エンジン系電気装置の分解整備を通じ、理論を確認し、理解を深め点検測定が出来るようになる

[授業の到達目標]

原動機の作動原理及び基本構造,名称を理解し,正しい手順で分解・組付け,点検・整備作業が出来るようになる 測定器の使用方法・名称を理解し,正しく測定が出来,良否判定が出来るようになる

各種センサ、アクチュエータの名称、役割、取り付け場所が分るようになる

電気装置の基礎理論を確認し、電装品への理解を深め、正しい電気の取扱を習得し、安全確保の重要性を認識するサーキットテスタを使用し、電流・電圧・抵抗の測定が出来、実験キットを使い、基礎回路を組み立て、原理を理解する正しい手順での組立と、正しいトルク管理ができるようになる

安全作業について理解する

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの 各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

三級自動車整備士(総合、二輪)、電装品構造

		授 業 計 画 表	No. 1							
STEP	標準時限	授業内容(項目)								
1	4	導入、G200 分解・組立(サイドバルブ)								
	4	GX160 分解·組立(OHV)								
	6	L15Aエンジン① 分解・組立(OHC)腰下								
	6	L15Aエンジン② 分解・組立(OHC)腰上								
	4	P07Aエンジン 分解・組立(OHC)腰上復習	07Aエンジン 分解・組立(OHC)腰上復習							
	4	GD411エンジン 分解・組立(OHV)								
	2	燃料装置								
	2	L15Aエンジン 分解・組立(OHC)								
	2	始動装置•単品								
	2	充電装置•単品								
	2	点火装置								

	2	電磁誘導
	2	バッテリ
	2	総合復習(エンジン編)
2	4	R20エンジン 分解・組立(OHC)
	4	L15Aエンジン 分解・組立(OHC)
	4	電子制御装置
	6	動力伝達装置
	2	潤滑装置 復習
	2	冷却装置 復習
	2	始動装置 単品
	2	充電装置 単品
	2	配線修正
	2	点火装置 単品
	2	OBD点検
	2	ED総合復習
	2	総合測定
	2	実働エンジン構造
	2	吸排気装置
	2	総合復習

 大教科目
 実習自動車整備作業
 小教科目
 シャシ系構造
 対象級 自動車整備留学生科 2年
 作成月日 25/04/01

 教科担当 別紙参照

実務経験教員授業 非該当 │ 総時限 │ 86時限 │授業方法 |実習・実技 |評価方法 |実習試験 単元·期末試験

〔授業概要・目的〕

各装置の学科で得た知識を基に、基本的な装置・構造について分解組み立てを行い、理解を深める 実習とする。

[授業の到達目標]

安全作業と整理整頓の重要性とその実践を繰り返し行い、習慣化すること

装置の構成、名称、作動の仕組み、原理を理解すること

電気装置に使われている理論を確認し、電装品への理解を深める基礎とすること

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

四輪自動車、単品部品、一般工具、専用工具、三級自動車整備士(総合)、電装品構造

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
	2	リフト・工具の使いかた	
	4	自動車の構成部品	
	2	マスタシリンダ	
	2	ボールナット型ステアリング装置	
	2	ラックピニオン型ステアリング装置	
	4	ドラムブレーキ(四輪)	
	2	ディスクブレーキ	
	2	ドライブシャフト	
	4	フロントサスペンション脱着(CIVIC)	
	4	フロントサスペンション脱着(FIT)	
	2	ブレーキ・エア抜き	
	2	ドラムブレーキ(二輪)	
	2	テスタ取扱	
	2	回路オームの法則	
	2	回路リレー	
	2	灯火装置	

	2	半導体I
	2	CD総合復習
2	4	制動倍力装置 分離・一体型
	2	デディファレンシャルの分解組立
	2	ドライブシャフト脱着(CIVIC)
	2	ドライブシャフト脱着(FIT)
	4	リアサスペンション脱着(CIVIC)
	4	リアサスペンション脱着(FIT)
	2	リアキャリパ
	4	自動遠心クラッチ(二輪)
	2	作業確認
	4	シャシ総合復習
	2	電圧降下•電位測定
	2	電源とアース
	2	冷暖房装置
	2	ワイパ
	2	半導体Ⅱ
	2	電装総合復習
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

大教科目		実習	小教科目	エンジン系整備					専門課程 自動車整備留学生科		作成月日	25/04/01
八秋行口	自動車整備作業		71 43/17 日	エンフン示定哺				2年		開講期	後期	
教科担当												
実務経験教員	員授業	非該当	総時限	44時限	授業方法	実習·実	技	評価方法	実習試験	単元·期末試験	レポート評価	取組加減

〔授業概要・目的〕

ガソリン・ジーゼル・エンジンの分解・組立整備を通じて,基本構造・作動の理解と,各部の点検測定や調整ができるようになること

[授業の到達目標]

原動機の作動原理及び基本構造,名称を理解し,正しい手順で分解・組付け,点検・整備作業が出来るようになる 測定器の使用方法・名称を理解し,正しく測定が出来,良否判定が出来るようになる

各種センサ、アクチュエータの名称、役割、取り付け場所が分るようになる

正しい手順での組立と、正しいトルク管理ができるようになる

安全作業について理解する

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの 各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

〔使用教科書・教材等〕

三級自動車整備士(総合、二輪)

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
1	6	L15A分解·整備·組立	
	6	R20A分解·整備·組立	
	4	GD411エンジン 分解・組立	
	2	トルクコンバータ構造	
	2	直噴エンジン導入	
	2	エンジン基本整備	
	2	総合復習1	
2	6	L15AエンジンVTEC構造	
	6	K20A始動エンジン点検	
	4	パーツカタログ	
	2	トルクコンバータ性能曲線図	
	2	エンジン整備作業確認	

作成月日 25/04/01 専門課程 実習 大教科目 小教科目 シャシ系整備 対象級 自動車整備留学生科 自動車整備作業 開講期 後期 教科担当 別紙参照

実務経験教員授業 非該当

44時限 | 授業方法 | 実習・実技 | 評価方法 実習試験 単元·期末試験 総時限

〔授業概要・目的〕

前期シャシ系構造の実習で習得した分解・組立方法を基に作業を行い、各部の点検・測定を

できるようになる

〔授業の到達目標〕

分解前、分解後の構成部品の点検、測定ができる

点検、測定後の良否判定ができる

正しい組付けと、良否判定に基づく調整・整備ができる

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~ 89点 3:60~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

三級自動車整備士(総合)、電装品構造、実車、単品部品

		授 業 計 画 表	No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)	
	4	フロントサスペンション (FIT)	
	4	フロントサスペンション (ストリーム)	
	2	ステアリング ボールナット調整	
	2	ステアリング ラックピニオン調整	
	2	アライメント (FIT)	
	2	ドライブシャフト分解	
	4	ドラムブレーキ ストリーム	
	4	無償点検	
	4	総合復習	
	2	簡易点検 (制動倍力装置)	
	1	ドラムブレーキ 復習	
	4	リアサスペンション (FIT)	
	4	リアサスペンション (ストリーム)	
	2	ディスクブレーキ	
	1	キャリパー復習	
	2	ディファレンシャル調整	

大教科目		実習	小教科目	-	一齢亩敷は	上輪車整備			専門課程 自動車整備留学生科		作成月日	25/04/01
	自動耳	車整備作業	7,48/17 日	一种平定师				2年		開講期	前期	
教科担当	教科担当 別紙参照											
実務経験教員	員授業	非該当	総時限	44時限	授業方法	実習•	実技	評価方法	実習試験	期末試験	レポート評価	取組加減
CIC VIII Ing -	•				·							

〔授業概要・目的〕

二輪車の分解・組立整備を通じて、構造、作動の理解と、各部の点検・調整等の整備ができるようになること また、電気装置の点検・測定が出来るようになることを目的とする。また、四輪車との相違点を把握し双方の理解度を深める。

[授業の到達目標]

- 二輪車の特性・構造を理解し、正しい点検・整備作業を身に付ける。
- 二輪車の点検整備、調整方法に必要な知識と技術を習得する。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~ 89点 3:60~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

三級自動車整備士(二輪)、二級自動車整備士(二輪)、HMSE三級テキスト

		授 業 計 画 表	No. 1							
STEP 標準時限 授業内容(項目)										
	1	駆動装置 I								
	1	駆動装置Ⅱ								
	2	ディスク・ブレーキ								
	2 チューブレスタイヤ(チューブレスタイヤ)									
	2 フリーバルブ式 フロントフォーク:フォークの分解組立									
	2 チューブタイヤ(チューブタイヤ)									
	2	燃料装置								
	2	電気装置,バッテリ								
	2	フロントフォーク脱着、ステアリング装置								
	2	冷却装置								
	2	CDI点火装置								
	2	充電装置								
	2	灯火装置、配線図								
	2	Vマチック								
	2	動力伝達装置、クラッチ								

2	トランジスタ点火装置
2	スマートキーシステム
2	電子制御装置
4	トランスミッション
2	始動装置
2	エンジン調整
2	総合整備

作成月日 25/04/01 専門課程 実習 大教科目 小教科目 電装系整備(実習) 対象級 自動車整備留学生科 自動車整備作業 開講期 後期 教科担当 別紙参照 |授業方法||実習・実技||評価方法||実習試験 期末試験 レポート評価 取組加減 実務経験教員授業 非該当 総時限 44時限 〔授業概要•目的〕

四輪車の単品・実車を通じて電装系部品の点検整備ができるようになること

〔授業の到達目標〕

四輪車の電装系部品の構造、回路を理解し、正しい点検整備作業を身に付ける。

四輪車の点検整備作業に必要な知識と技術を習得する。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~ 89点 3:60~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

三級自動車整備士(総合、二輪)、電装品構造

		授 業 計 画 表	No. 1						
STEP 標準時限 授業内容(項目)									
1	2	充電装置 実車							
	2	充電装置 単品							
	2	始動装置 直結式							
	2	点火装置(実車)							
	2	HDS取扱							
	2	灯火装置脱着							
	2	ワイパー 実車							
	2	ホーン・ウォッシャ・ワイパー							
	2	スイッチ導通点検 I							
	2	実車 回路図 I							
	2	バッテリ比重測定							
2	2	始動装置•故障探求							
	2	充電装置·実車測定							
	2	DTC点検							
	2	HDS取扱確認							

2	電位(電圧)測定
2	スイッチ導通点検 Ⅱ
2	実車 回路図Ⅱ
2	ドア構成部品
2	電装作業復習
2	シャシ電装総合復習

大教科目	一般	小教科目	,	安全運転学	ź		対象級	専門課程 自動車整備留学生科	作成月日	25/04/01				
7 C T T T	/42	7 00111), <u>—</u> , —			7.1 230/100	2年	開講期	前期				
教科担当	別紙参照													
実務経験教	員授業 非該当	総時限	4時限	授業方法	講	義言	平価方法	•						
〔授業概要	夏・目的〕	-				-								
交通社会人の一員としての認識を高める														
〔授業の至	[授業の到達目標]													
交通社会で安全運転が実践できる知識を習得する														
行動時の規律の大切さと、他人との協調性を養う														
〔学習評句	 fjの基準]													
今期は学習	評価なし													
〔使用教科	斗書・教材等]													
_														
			授	美業 計 [画 表					No. 1				
STEP 標準時限				ž	受業内容	容(項	[目]							
1	OD式安全性テ	ースト												
	ドライビングシミ													
1	セーフティコー	・ディネータ	講習											

大教科	.月	学科	小教科		接客実務			専門課程 自動車整備留学生科		作成月日	25/04/01
八秋石		自動車工学	学 目 以在关切			対象級	2年	-/11	開講期	前期	
教科担	当	別紙参照									
実務経驗	食教員	員授業 該当	総時限	10時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元	記試験		取組加減
・実務経り	剣のあ	る教員が、現場で必	要な知識等に	こついて、実務	務経験を活かし	てより実践的	内容を指導し	授業を行う。			
〔授業権	既要	•目的〕									
新社	会人	、新人サービス	ススタッフと	しての心	構えを習得	 する					
〔授業の	の到	達目標〕									
新人サ	<u>-</u> -	ごススタッフの知	職を理解	する							
接遇マ	ナー	-の基本を理解	!する								
後期就	職剂	舌動に向けた企	業が求め	る人材の	理解と、将	来像を考え	える				
〔学習記	平価	の基準〕									
各試驗	魚点	数の基準、授業の	り取り組みを	を総合して、	5.4.3.2	・1」の5段	階で表わす	0			
5:特(こ成	績優秀なもの 4	:成績良の	もの 3:成	績普通のも	の 2:成	績やや劣る	5もの 1:成績特	テに劣り	、不合格の	つもの
各試懸	魚点	数の評価は 5:9	00~100点	4:75 ~	89点 3:60	~ 74点					
60点	卡満	の場合は再試験	を行う。尚、	,再試験後	の評価は討	は験規程に	よる。				
〔使用氡	教科	·書·教材等〕									
新人サ	<u>-</u> Е	ごススタッフの基	礎と接遇								
				授	業計	画 表					No. 1
STEP 標	準時限				扌	受業内容(項目)				•
	1	挨拶の基礎									
	2	新人サービスス	スタッフの気	汩 識							
	2	ホンダを知る									
	1	建学の原点									
	1	ホンダフィロソフ	フィ								
	1	接客実務復習	練習								
	1	学園50日									
	1	就職導入									

							• •							
大教	科目		学科	小教科目	新桦	新機構•次世代技術				専門課程 自動車整備留学生科	作成月日	25/04/01		
八叔	пн	自動	加車工学	小教科日 机矮件 外巴气纹剂					対象級	2年	開講期	後期		
教科	数科担当													
実務経	実務経験教員授業 非該当 総時限 4時限 授業方法 講 義 評価方法													
〔授業	授業概要•目的〕													
ホンダ製品の新しい技術を理解する														
社会の変化で生じている様々な新技術等を知ることで技術者としての幅を広げる														
[授業の到達目標]														
自動車の進化と技術革新の流れを理解する														
自動法	運転2	および	先進運転	支援シス	テムの技術	術を理解す	る							
〔学習	評価	iの基	準〕											
今期に	は学習	評価な	2 L											
〔使用]教科	·書•耈	故材等〕											
HON:	DA S	SE3級												
					授	美業 計 [画表					No. 1		
STEP	標準時限					ž	受業内	容(項目)					
	1	サート	ビスの基本	K										
	1	整備	業務の基	礎										
	1	安全	技術 I											
	1	安全	技術Ⅱ											
		l												

							•						
大教	科目	実習 自動車整備作業		小教科目	新桦	新機構・次世代技術			専門課程 自動車整備留学生科	作成月日	25/04/01		
7742/	111	自動耳	「整備作業	7 3211 11	WHINTH KENDY			対象級	2年	開講期	後期		
教科担当別紙参照													
実務経験教員授業 非該当 総時限 8時限 授業方法 実習·実技 評価方法													
〔授業	授業概要•目的〕												
ホンダ	ホンダ製品の新しい技術を理解する												
社会の変化で生じている様々な新技術等を知ることで技術者としての幅を広げる													
〔授業	[授業の到達目標]												
自動車	車の記	進化と	技術革新	の流れを理	理解する								
自動证	軍転2	および	先進運転	支援シス	テムの技術	ドを理解す	る						
〔学習	評価	の基	準〕										
今期に	は学習	評価な	ZL J										
〔使用	教科	·書·教	(材等)										
HONI	DA S	SE3級											
					授	業計	画 表				No. 1		
STEP	標準時限					技	受業内容(項目)					
	1	ハイン	ブリッドシン	ステムの基	礎:ハイブ	リッドの基	礎知識						
	1	ハイフ	ブリッドシン	ステムの基	礎:PHEV	/EVの基礎	楚知識						
	1	外部	診断機(お	女障診断):	:外部故障	置診断機を	使用しての	の診断					
	1	外部	診断機(お	女障診断):	:実作業に	おけるサー	ービスマニ	ユアルの	確認方法				
	1	SRSユ	ニアバッグ	システムI									
	1	SRSユ	ニアバッグ	システムⅡ									
	1	SRSユ	ニアバッグ	システムⅢ	[
	1	SRSユ	ニアバッグ	システムIV	7								

大教科目	一般	小教科目		日本語教育		対象級	専門課程 自動車整備留学生科 2年	作成月日 開講期	25/04/01 後期						
教科担当	別紙参照					1711 1144 791	[2,79]								
実務経験教員授業 非該当 総時限 13時限 授業方法 講 義 評価方法															
〔授業概要	授業概要•目的〕														
資格取得	に必要な日本語	能力を習	得する。												
〔授業の到	授業の到達目標〕														
日本語能力試験N3もしくは、日本語能力試験N2を取得する。															
無資格者は日本語能力試験N3を取得する事とし、日本語能力試験N3保有者は日本語能力試験N2を取得する。															
〔学習評価	[の基準]														
学習評価な	:1														
	書・教材等〕														
日本語能	力試験参考書、	日本語能								1					
			授 		画 表					No. 1					
STEP 標準時限				<u></u>	受業内	容(項目) ————								
	日本語能力試	験 実力的	筆認												
	文字・語彙														
	文法														
	読解														
	聴解	TA 141123	N#A ≠												
	日本語能力試														
2	日本語能力試	験 模擬詞	共験Ⅱ												